

# がんリハビリテーション

## Q1. がんのリハビリテーションとは？

がん治療で安静が続くことによる筋力や体力の低下、骨や筋肉のがんによる歩行障害や生活動作の障害に対して、様々なリハビリテーションを行う事で、患者さんの回復力やQOLを高め、出来るだけ早く家庭や社会へ復帰する手助けをします。

### 予防的介入

がんの診断後、治療前から開始します。障がいの予防を目的とします。

### 回復的介入

機能障害や、筋力・体力の低下を回復することを目的とします。

### 維持的介入

運動能力の維持・改善を目的とします。不動・不活動の予防も図ります。

### 緩和的介入

身体的・精神的・社会的にQOLを高く保つことを目的とします。

予防・回復・維持と、どの病期・治療段階においても、病状に合わせて介入します。

## Q2. 周術期リハビリテーションとは？

**対象疾患** ・主に消化器がんの開胸・開腹手術患者

### 周術期リハビリテーションの流れ 外来～入院



#### ・術前のリハビリテーション

##### 術前リハビリ開始

- ・呼吸指導、運動指導
- ・術前の身体機能評価
- ・術後リハの説明

呼吸訓練器による呼吸練習（手術後の合併症予防を目的）  
身体機能の評価



##### 手術

##### 術後のリハビリ開始

##### カンファレンス

##### 術後の身体機能評価

##### 退院指導（生活・運動）

##### 退院

#### ・術後のリハビリテーション

チームでカンファレンスを行い、術後の方針を決定し、早期離床や状況に応じた術後リハビリテーションを開始します。  
・筋力トレーニング ・歩行練習 ・ADL指導 など

#### ・退院後を見据えた個別指導

術後の身体機能評価を行い、退院後の生活や運動指導を行います。

術前

術後

### Q3. 化学療法・放射線療法中のリハビリテーションとは？

がんの治療で化学療法や放射線療法を受けることによって、食欲不振や倦怠感などの副作用を生じ、それにより身体機能や活動量の低下をきたすことがあります。



治療の継続や治療後の生活を再開するためには、体力や活動量の維持・向上を目指すことが大切です。また、自分らしい生活ややりたい事が行えるようリハビリテーションを行います。リハビリテーションは、主治医や病棟スタッフと連携し、体調に合わせて治療早期から開始していきます。



**スッキリとした気分になり  
精神的苦痛も軽減され毎日快適！**



#### リハビリ内容

運動療法は、治療中から開始するとより効果が高いと言われています。



ストレッチ



自転車エルゴメーター  
(ウォーキング)



筋力トレーニング など

### Q4. 全身状態に合わせたリハビリとは？

がんの治療中に変化していく全身状態と、患者さん1人1人のニーズに合わせた関わりを行います。



生活動作指導



関節可動域訓練 など

### Q5. 入院中から退院後にかけての一貫したサービス提供



当院では、訪問リハビリステーションも併設しております。退院後も安心して生活を送れるように、院内外のスタッフが連携し、患者さんごとに一貫したサービスの提供が可能となっています。